

国立大学法人島根大学役員会（第401回）＜議事要録＞

日時 令和5年12月19日（火） 14:00 ～ 15:50
場所 本部棟5階 大会議室（TEAMS利用）
出席者 服部学長，藤田理事，肥後理事，大谷理事，椎名理事，藤波理事，宮脇理事，
上野理事
オブザーバー 千家監事，栗原監事
欠席者 なし
〔陪席：企画部長，研究・地方創生部長，教育・学生支援部長，総務部長，
松江地区学部等事務部長，医学部事務部長〕

議決事項1 「先端マテリアル研究開発協創機構」の設置に伴う同機構規則の制定について

- 服部学長から「先端マテリアル研究開発協創機構」の設置に伴う同機構規則の制定について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

議決事項2 管理学則一部改正（先端マテリアル研究開発協創機構の設置）に伴う関係規則の改正について

- 藤田理事から管理学則一部改正（先端マテリアル研究開発協創機構の設置）に伴う関係規則の改正について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

議決事項3 ハラスメント対策規程等の一部改正について

- 藤田理事からハラスメント対策規程等の一部改正について説明があった。
- 宮脇理事から，ハラスメントはマニュアル等のみで防げるものではないため，教職員の意識等を高める教育をしっかりと行っていくことが必要との意見があった。
- 栗原監事から，ハラスメントの定義について，セクシュアル・ハラスメントについては犯罪行為に該当する可能性があるため具体的に規定化し，それ以外については「ハラスメント等」として整理しているのかとの質問があった。藤田理事からセクシュアル・ハラスメントに限らず他のハラスメント行為についても類型化しており，それらの類型に当てはまらない場合には「その他のハラスメント」として定義しているものであり，犯罪行為の有無等によって区別はしていないとの回答があった。
- 審議の結果，原案どおり議決された。

議決事項4 第4期中期目標・中期計画に係る進捗状況の確認について

- 肥後理事から第4期中期目標・中期計画に係る進捗状況の確認について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

議決事項5 クロス教育に関する規則の制定について

- 肥後理事からクロス教育に関する規則の制定について説明があった。
- 栗原監事から，教員免許を取得しようとする学生がクロス教育を履修する場合，授業の履修の仕方等に影響があるのかとの質問があり，肥後理事から教育学部や医学部については，クロス教育の履修が実質的に困難なため評価指標から除外しているとの回答があり，続いて服部学長から，教育学部以外の教員免許取得可能な学部における教職に関する科目はクロス教育とは別に位置づける必要があるとの補足があった。
- 栗原監事から，学生が転学部する場合，クロス教育において修得済みの単位はどのような取

扱いとなるかとの質問があり、肥後理事から、履修するプログラムによってはクロス教育の修了要件を満たさなくなる場合もあるが、要卒単位として一定の単位数は計上可能との回答があった。

- 審議の結果、原案どおり議決された。

議決事項6 競争的研究費における制度改善に伴う要項等の制定について

- 大谷理事から競争的研究費における制度改善に伴う要項等の制定について説明があった。
- 千家監事から、P I等の人件費支出制度について、直接経費が1000万円未満である場合は対象とならないことから制度活用が進んでいないとの報道もあるため、制度の活用方法について今後検討を進めて欲しいとの意見があった。
- 服部学長からエフォート管理について、どのように教育・研究・診療等のバランスを取っていくのが重要となるため、教員の働き方も見据えながら、研究力の向上に繋がるような形で制度の運用を進めて欲しいとの意見があった。
- 審議の結果、原案どおり議決された。

議決事項7 「研究環境向上のための若手研究者雇用支援事業」への登録について

- 大谷理事から「研究環境向上のための若手研究者雇用支援事業」への登録について説明があった。
- 服部学長から、本事業への対応に伴う就業規則等の枠組整備にあたっては、研究推進課がイニシアチブを取り、本学の若手研究者育成の将来像を見据えた形で整備を進めて欲しいとの意見があった。
- 審議の結果、原案どおり議決された。

議決事項8 知的財産権管理規程の制定及び固定資産管理規程の一部改正について

- 大谷理事から知的財産権管理規程の制定及び固定資産管理規程の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

議決事項9 大学発ベンチャーの認定に関する規程の一部改正について

- 大谷理事から大学発ベンチャーの認定に関する規程の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

協議事項1 定期モニタリングの実施について（不祥事におけるマスコミ対応の状況）

- 藤田理事から定期モニタリングの実施について（不祥事におけるマスコミ対応の状況）説明があった。
- 栗原監事から、対応にばらつきがあると混乱しているように受け止められる可能性があるため、関係部署間で密接に連携を取り指揮系統を適切に確保しておくことが必要との意見があった。
- 服部学長から、不祥事の際の対応についてはなるべく詳細にマニュアル化した上で、マニュアルに従って適切に対応するというを全体で共有しておくことが必要との意見があった。
- 服部学長から初動対応に係る総務課と企画広報課の関係性について質問があり、藤田理事からコンプライアンス問題という点では総務課が軸となるが、外部からの問合せや記者会見等について企画広報課が連携を取りながら対応することとなるとの回答があった。
- 服部学長から総務課と企画広報課が連携して対応する際には、お互いの領域に一步踏み込んでいく形で連携することを意識して欲しいとの意見があった。

- 千家監事から、本学はしっかりとしたマニュアルが出来ており、全体として適切に対応していると考えられるため、記者会見時の立ち振る舞い等にも留意しながら、マニュアルに沿って冷静に対応していけば良いのではないかとの意見があった。

報告事項 1 公的研究費等の不正使用防止に関する令和5年度行動計画に係る実施状況の中間報告の検証について

- 藤波理事から公的研究費等の不正使用防止に関する令和5年度行動計画に係る実施状況について中間報告があり、議論が行われた。

報告事項 2 附属病院運営状況について

- 椎名理事から附属病院運営状況について報告があった。

報告事項 3 副学長の選任について

- 服部学長から新たに令和6年1月1日付けで副学長の選任を行うことについて報告があった。

報告事項 4 全学委員会の議事報告について

- 書面による報告があった。

その他

- 宮脇理事から、DXやIT化を進めていくため、既存のリカレント教育を転換していくことで企業等の経営責任者のリテラシーや理解の向上に繋げていくことが重要との意見があった。
- 上野理事から議決事項9に関連して、島根大学発ベンチャーによる地域の発展への寄与等の好事例を紹介していくなど、教員の研究成果の積極的なPRに繋げて欲しいとの意見があった。